



歯科に関する疑問 Q&A

今回のひまわり通信では歯科に関する疑問をQ&A方式でご紹介致します。是非一つの知識として参考にして頂ければと思います。

Q 入れ歯を入れると舌返るの？

A はい！

舌返ります。入れ歯は噛むためだけに使うわけではなく、舌を抜いたことで徐々に下がってしまふ歯茎の部分を補う事ができます。挿入し歯などは、外すと途端に「くちびるの周囲がしわたらけ」になってしまふのです。

Q 入れ歯はできるだけ小さい方がいい？

A いいえ！

小さい入れ歯はそれだけ噛んだときに単位面積あたりにかかる力が増えたり、噛み感も低下しやすくなります。外れやすい入れ歯も歯肉を痛やすくて、噛み感を取り戻すことに加えられる事がありません。

Q 入れ歯は録るときは外した方がいい？

A はい！

入れ歯は歯のない歯茎の部分をカバーするようにつくられていきます。歯茎の部分はクッションのような役割をしていて、入れ歯を外しておく事によって、弾力を取り戻すことができます。

噛み合わせなどの維持を目的としない場合は歯茎の休息のために入れ歯を外して、就寝する事をオススメします。

Q 歯の神経を取っても痛くなることかあるの？

A はい！

確かに神経を取った歯の内蔵は痛みを感じる部分はありませんが、歯が痛くなるのは内蔵だけではなく、歯の周辺の歯肉や骨などの炎症でも歯が痛くなるのです。したがって神経を取れば、それ以降全ての歯の痛みから解放されるわけではありません。

Q 歯を抜いた後は良く口をゆすいた方がいい？

A いいえ！

歯を抜くと出血が起り、これが固まって抜いた後の穴に埋まります。汚れた唾天のようなフヨフヨしたものです。血の塊はかさかたのような役割をしていて、汚いからといって、良くゆすいで洗い流したりすると、治りが遅くなります。

Q 入れ歯がきつても参考になりませんか？

最近では糖尿病と歯周病の関係が新聞や雑誌で取り上げられておりました。糖尿病の方が歯周病にかかると、進行が早くなったり、治りにくくなる特徴が見られるそうです。

また、歯周病にかかるとインスリンの作用を阻害してしまうそうです。

少し話しがそわそわしてしまいましたが、お口の中は体の色々な事と関係してきます。

なかなか歯科について学ぶような機会が少ないのが現状ですが、健康のためにも歯科に関する知識などを積極的に情報発信していきます。より一層皆様の健康管理を行えるよう介護事業者様との連携を深めていけたらと願っています。

また、当院では歯科歯科検査を積極的に行っており、その時に「下りター」より直接のアドバイスなども行えます。

お気軽にお申し出下さいませ。

出下



ペット紹介のコーナー

恒例のペット紹介です！

今回ご紹介するペットは、事務局スタッフが飼っている「オカメインコ」のバッチです。

オカメインコはホッペの赤い模様と頭上の短みだいな毛が特徴で可愛いです。

生後2ヶ月から飼いはじめ、最初は怖くても育てておりました。今では自分で飛べることも出来るようになっており、団形の主食とは別に大好きな小粒菜を毎日おなか一杯食べておられます。

そんなオカメインコですが、非常に甘えん坊で寂しがりやで可愛いです。一人に居ると、ずっと「ビィ」と鳴いています。毎日寝た後に出して遊んでくれるのですが、その時はお膝に座ってご求めています。非常に可愛いです。(朝八力です。)

しかし、オカメインコは非常に睡眠時もあり、突然の抱っこなどで驚きパニックを起こします。

通称「オカメパニック」です。

オカメインコは元々オーストラリアの島で、最速の鳥といわれておられます。

日本にはまだまだちゃんとした飼育道具が揃っていないのが現状ですが、飼うと非常に人懐っこいので、楽しい時間を提供してくれます。



夏季休暇のお知らせ

ひまわり歯科では下記の通り夏季休暇を取ります。

8月10日(日)から

8月17日(日)まで

8月18日(月)より通常通り診療を行います。

何卒ご理解を申し上げます。